

# 古事類苑

## 人部三十四

### 盲人 盲僧 併入

盲人ハ、先天ト疾病トノ二種アリテ、古ハ全ク之ヲ廢人ト爲シテ、何等ノ職業ヲモ爲ス所ナカリシガ、中古以來、音曲、按摩等ヲ以テ、此輩ノ職業ニ適スト爲シ、專ラ之ヲ修メシムルコトト爲リ、之ヲ座頭ト云ヘリ、座頭ノ祖先ニシテ、其傳ノ明ナルモノハ、性佛ニシテ、此者始テ平家ヲ禁中ニ語リキ、次ニ城一ト云フモノアリテ、之ヲ襲ギ、其兩弟子、兩派ニ分レ、一人ハ其名ニ一ノ字ヲ用キ、一人ハ城ノ字ヲ用キル、其流派相承ケテ、遂ニ多クノ流派ト爲レリ、後世仁明天皇ノ皇子雨夜ノ尊ト云フヲ以テ、座頭ノ祖神トシテ祀ル、蓋シ座頭等其道ヲ重クセムガ爲ノ謀ニ外ナラズト云フ、

徳川幕府時代ニ至リテハ、幕府大ニ盲人ヲ保護シ、隨テ其制度モ亦甚ダ整ヘリ、即チ座頭ノ等級ヲ分チテ數十階ト爲シ、極位ヲ檢校、總録ナド、稱シ、之ヲシテ座中一切ノ事ヲ支配セシム、而シテ位次昇進ノ事ハ、夙ニ久我家ノ掌ル所ナリキ、盲人ハ斯ノ如ク優遇セラレタルヲ以テ、爲ニ驕奢ニ流レ、且ツ高利ノ貸金ヲ爲ス事ヲ許サレタレバ、之ヲ以テ良民ヲ苦ムルモノモ亦甚ダ尠カラザリキ、又盲僧ト稱スルモノアリ、多クハ僧形ノ盲人ニシテ、其職業略座頭ニ類ス、徳川幕府ノ時、其士分以上ノ者ハ、青蓮院宮ノ支配ヲ受ケ、士分以下ノ者ハ、座頭ト同ジク檢校ノ支配ニ屬セシメタリ、